

No. 5 3

津地区の小規模企業景況

平成20年下期実績と平成21年上期見通し
(平成21年1月調査)

津商工会議所・中小企業相談所

も く じ

I	調査概要	1
II	調査結果	4
1	現状と今後の見通し	4
2	売上状況と来期の見通し	6
3	売上の現状	7
4	利益状況	8
5	販売条件と仕入条件	9
6	設備投資	11
7	資金繰りの動向	11
8	借入の動向	13
9	借入予定と借入希望先	13
10	経営上の問題点	15
11	貸渋り・貸剥しの状況	17
	調査票	18

I. 調査概要

1. 調査目的 本調査は、津地区の小規模企業の景況を調査し、その動向を分析して地域事業所の経営管理に役立つ資料を提供することを目的とする。
2. 調査対象 津商工会議所管内の小規模企業（卸・小売・サービス業は従業員5人以下、製造・建設・その他の業種については従業員20人以下）の中から850企業を抽出した。
3. 調査方法 郵送によるアンケート方式
4. 調査期間 平成21年1月5日～1月23日
5. 調査対象期間 平成20年7～12月実績と平成21年1～7月見通し
6. 回収集計数 回収集計数企業295（回収集計率34.7%）
7. 調査機関 津商工会議所・中小企業相談所

D I - Diffusion. Index (ディフュージョン・インデックスの略)

本文のD Iとは、景気動向を示す指標で、調査時点における企業家の経済行動（強気や弱気など）を知るものであり、景気動向を客観的に判断する資料として幅広く使用されているものでとくに言及のない限り、前期に比べて「増加」「好転」する企業の割合から「減少」「悪化」したとする企業の割合を差し引いた値である。

B. S. I 値 (ビジネス・サーベイ・インデックス) の見方について

B. S. I. とは、景気動向を示す指標で、調査時点における企業家の経済行動（強気や弱気など）を知るものであり、景気動向を客観的に判断する資料として幅広く使用されているもので、とくに言及のない限り「増加」「好転」したとする企業割合から「減少」「悪化」したとする企業割合を差し引いた値を2で割った値である。

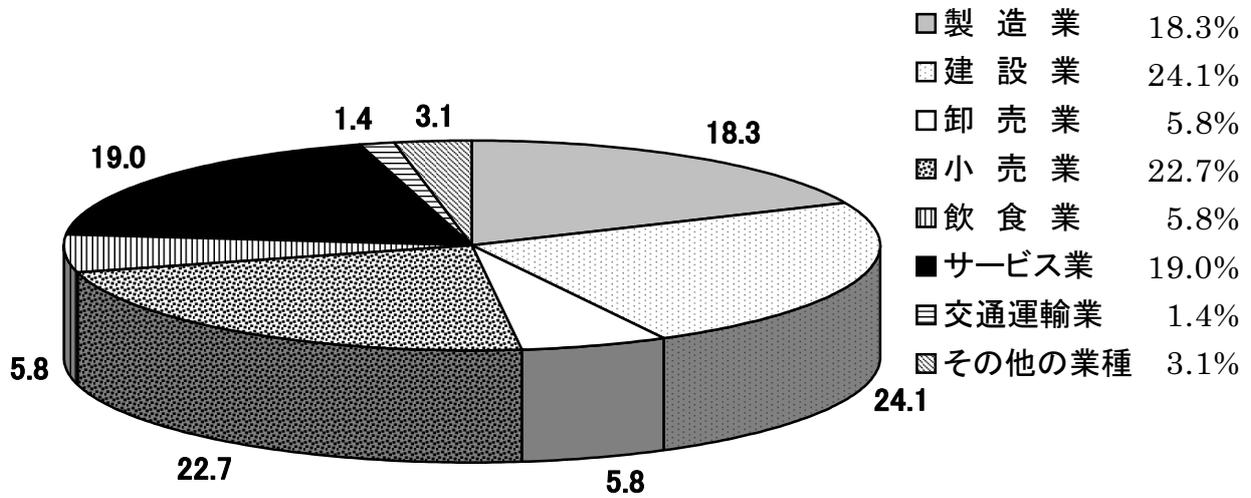
(注) 図表中の数値表示について

図表中の数値については小数点以下第2桁で四捨五入をしているため、合計が100.0にならない場合があります。

回答状況

業種別回答比率

(単位：%)



業種別従業員規模

(単位：上段－企業数・下段－%)

産業別	従業員数		
	0～5人	6～20人	計
全産業	261 88.5	34 11.5	295 100.0
製造業	40 74.1	14 25.9	54 100.0
建設業	54 76.1	17 23.9	71 100.0
卸売業	17 100.0	－ －	17 100.0
小売業	67 100.0	－ －	67 100.0
飲食業	17 100.0	－ －	17 100.0
サービス業	56 100.0	－ －	56 100.0
交通運輸業	1 25.0	3 75.0	4 100.0
その他の業種	9 100.0	0 0.0	9 100.0

全 産 業 D I

期 \ 項目	業況判断	売 上	利益状況	販売条件	仕入条件	資金繰り
21年1月～6月 見通し	△ 63.4	△ 62.1	—	—	—	△ 44.8
20年7月～12月 実績	△ 65.4	△ 60.7	△ 64.4	△ 53.6	△ 40.3	△ 41.7
20年1月～6月 実績	△ 56.2	△ 41.0	△ 52.7	△ 42.5	△ 49.2	△ 32.4
19年7月～12月 実績	△ 56.9	△ 37.1	△ 48.8	△ 35.8	△ 42.9	△ 31.9

産 業 別 D I (20年7～12月期)

項目 \ 産業別	業況判断	売 上	利益状況	販売条件	仕入条件	資金繰り
製 造 業	△ 64.8	△ 68.5	△ 74.0	△ 53.6	△ 40.7	△ 40.6
建 設 業	△ 57.7	△ 49.3	△ 56.3	△ 49.3	△ 40.8	△ 38.0
卸 売 業	△ 88.2	△ 58.8	△ 76.5	△ 41.1	△ 35.3	△ 41.2
小 売 業	△ 80.6	△ 71.6	△ 71.6	△ 64.1	△ 44.8	△ 47.7
飲 食 業	△ 58.8	△ 64.7	△ 70.6	△ 58.8	△ 47.0	△ 41.2
サービス業	△ 51.8	△ 51.7	△ 51.8	△ 46.4	△ 28.6	△ 37.4

Ⅱ. 調査結果

1. 現状と今後の見通し（表－1、図－1・2参照）

現状は悪化、見通しはやや改善

(1) 現況

全産業の業況判断D Iは、今期実績値△65.4と前期実績値△56.2に比べマイナス幅が9.2ポイントの大幅な拡大となり、悪化状況が鮮明になった。

産業別に見ると、前期実績値に比べて卸売業で28.2ポイントの大幅な悪化となった一方、飲食業では6.2ポイントの改善となった。

(2) 今後の見通し

全産業の今後の見通し判断D Iは△63.4と、今期の現状実績値△65.4と比べ2.0ポイント、マイナス幅が縮小し、やや改善見通しとなっている。

産業別に見ると、現状が改善していた飲食業で23.6ポイントマイナス幅が拡大して大幅な悪化見通しとなった一方、小売業で13.4ポイント、卸売業で11.7ポイントのマイナス幅縮小となり改善見通しとなった。

表－1 経営の現状と今後の見通し

期 産業	実 績			来期の 見通し
	19年7 ～12月	20年1 ～6月	20年7 ～12月	21年1 ～6月
全 産 業	△56.9	△56.2	△65.4	△63.4
製 造 業	△59.7	△52.8	△64.8	△61.1
建 設 業	△53.5	△52.0	△57.7	△57.7
卸 売 業	△44.4	△60.0	△88.2	△76.5
小 売 業	△71.7	△71.5	△80.6	△67.2
飲 食 業	△80.9	△65.0	△58.8	△82.4
サ ー ビ ス 業	△52.5	△48.6	△51.8	△60.7

D I = 好転（良い、やや良い）の割合－悪化（やや悪い、悪い）の割合 △はマイナス表示

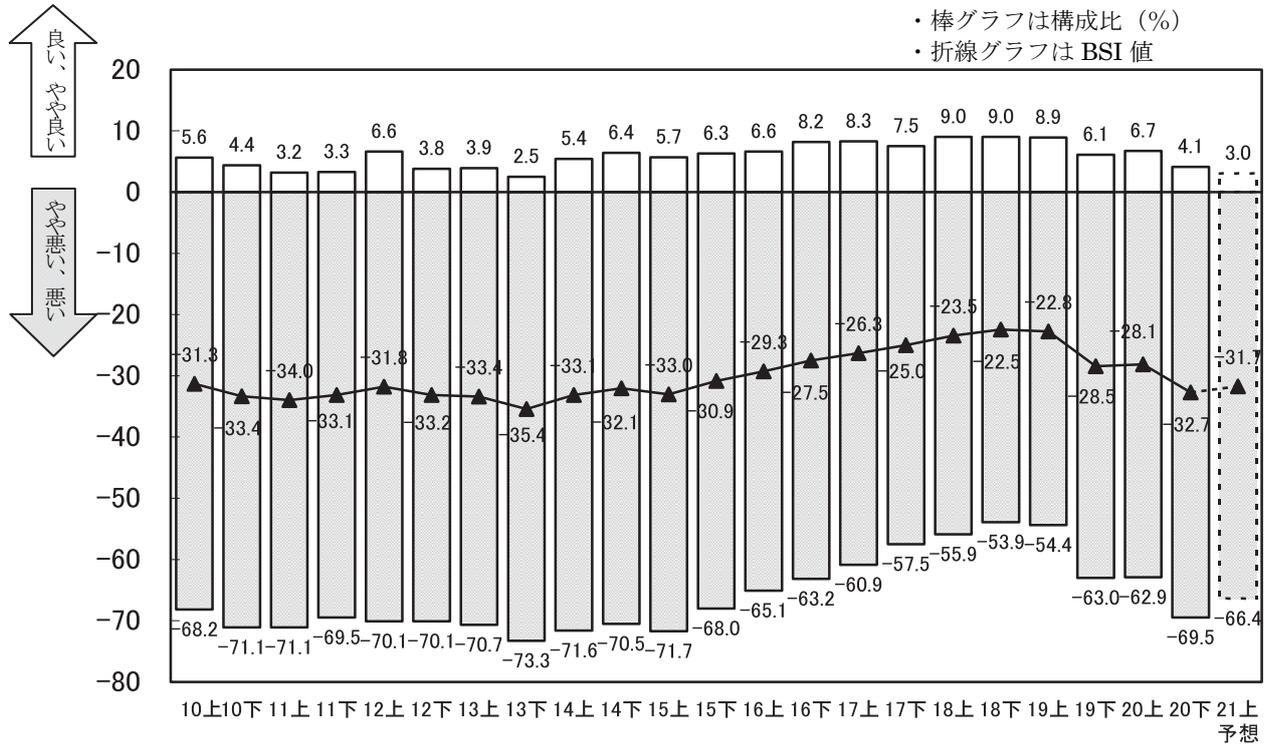
※表内の景気天気図は各期ごとのD I値により表示
快晴 晴 曇り時々晴 曇り 曇り時々雨 雨



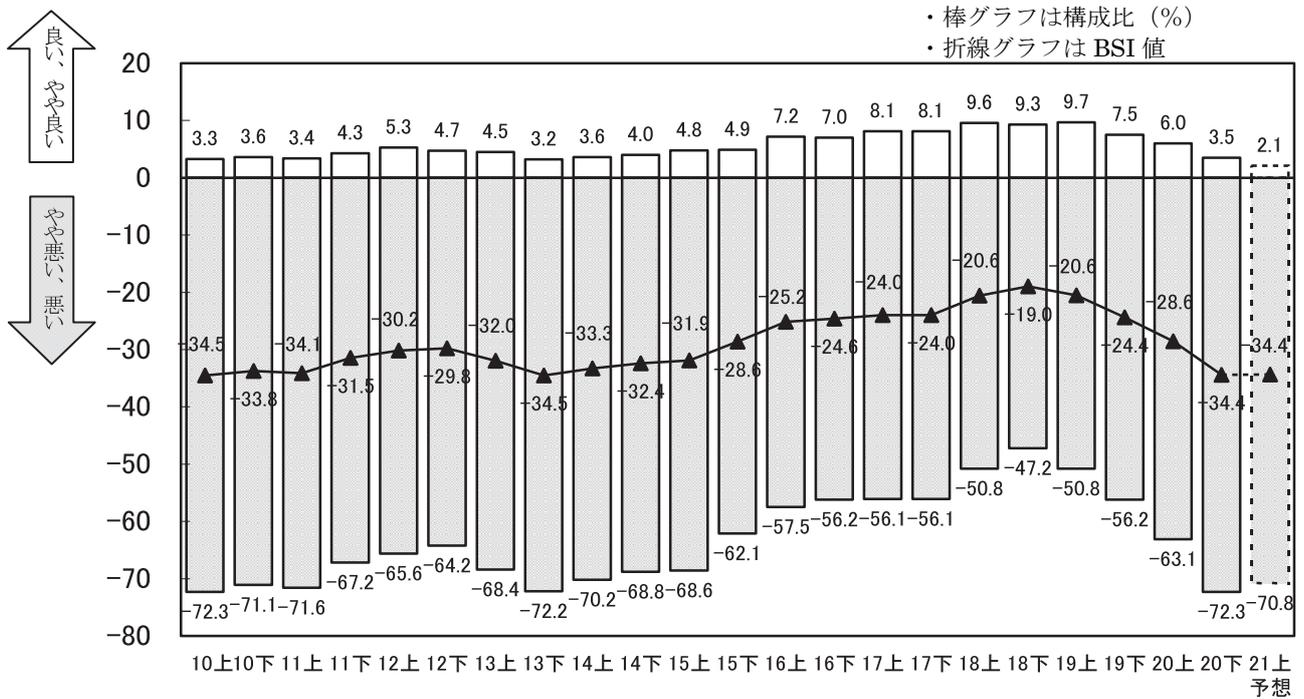
景気判断D I

50以上100 25以上 0 以上 △25以上 △50以上 △100以上
50未満 25未満 0 未満 △25未満 △50未満

図－１ 津地区の経営の現状と見通し



図－２ 三重県下の経営現状と見通し



2. 売上状況と来期の見通し（表－2参照）

現状、見通しともに悪化

(1) 今期の動向

全産業の売上D Iは△60.7と、前期実績値△41.0に比べ19.7ポイントマイナス幅が拡大し、四期連続の悪化となった。

産業別で見ると、前期実績値と比較して製造業で38.4ポイント、卸売業で28.8ポイントの大幅な悪化をはじめとして全業種で悪化となった。

(2) 今後の見通し

全産業の売上見通し判断D Iは△62.1と、今期の現状実績値△60.7に比べ1.4ポイントマイナス幅が拡大し、さらに悪化傾向の見通しとなっている。

産業別で見ると、卸売業で17.7ポイント縮小し改善見通しとなったが、飲食業で23.5ポイントの大幅な拡大となり今期より大きく悪化する見通しとなった。

表－2 最近の売上と今後の見通し

期 産業	実績			来期の 見通し
	19年7 ～12月	20年1 ～6月	20年7 ～12月	21年1 ～6月
全産業	△37.1	△41.0	△60.7	△62.1
製造業	△47.4	△30.1	△68.5	△68.5
建設業	△16.5	△41.1	△49.3	△53.6
卸売業	△22.1	△30.0	△58.8	△41.1
小売業	△48.3	△57.2	△71.6	△70.1
飲食業	△52.3	△60.0	△64.7	△88.2
サービス業	△49.2	△33.0	△51.7	△57.2

D I＝好転（良い、やや良い）の割合－悪化（やや悪い、悪い）の割合 △はマイナス表示

※表内の景気天気図は各期ごとのD I値により表示
快晴 晴 曇り時々晴 曇り 曇り時々雨 雨



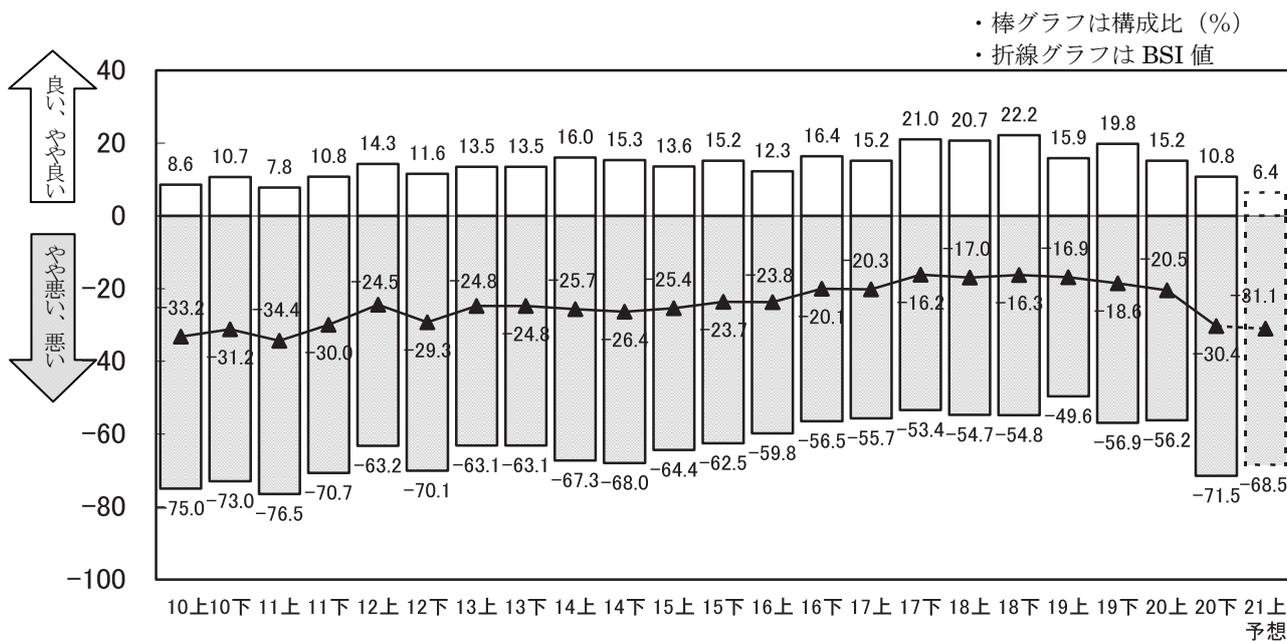
 景気判断 D I
 50以上100 25以上 0 以上 △25以上 △50以上 △100以上
 50未満 50未満 25未満 0 未満 △25未満 △50未満

3. 売上の現状（図－3・4参照）

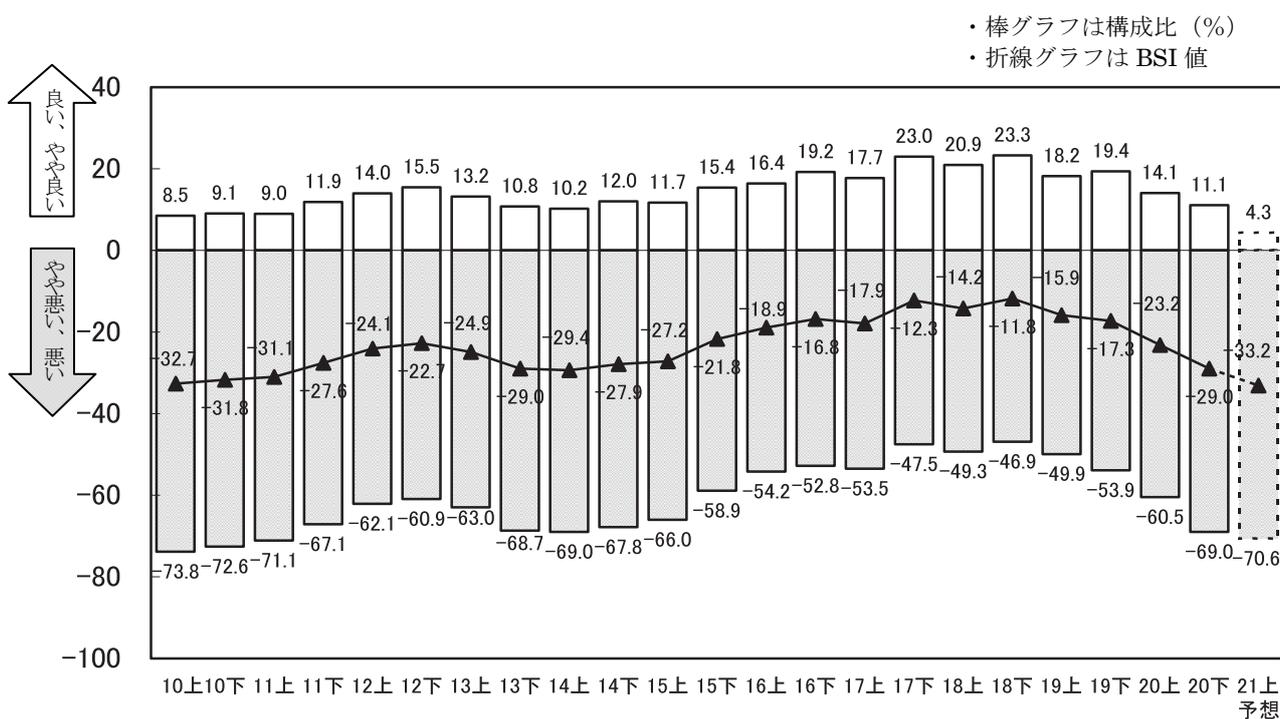
今期売上げが増加した企業は315企業中48企業、全体の15.2%で、前期実績値19.8%に比べ4.6ポイント減少した。

一方、今期売上げが減少した企業も315企業中177企業、全体の56.2%で前期実績値56.8%に比べ0.6ポイント減少した。

図－3 津地区の売上の現状と見通し



図－4 三重県下の売上の現状と見通し



4. 利益状況

飲食業を除き利益悪化

利益状況（表－3、図－5参照）

全産業の利益判断DIは△64.4と前期実績値△52.7と比べ11.7ポイント悪化した。

産業別で見ると、飲食業が4.4ポイントの改善となったものの、卸売業が31.5ポイント、製造業が13.7ポイントの2桁以上の悪化となった。

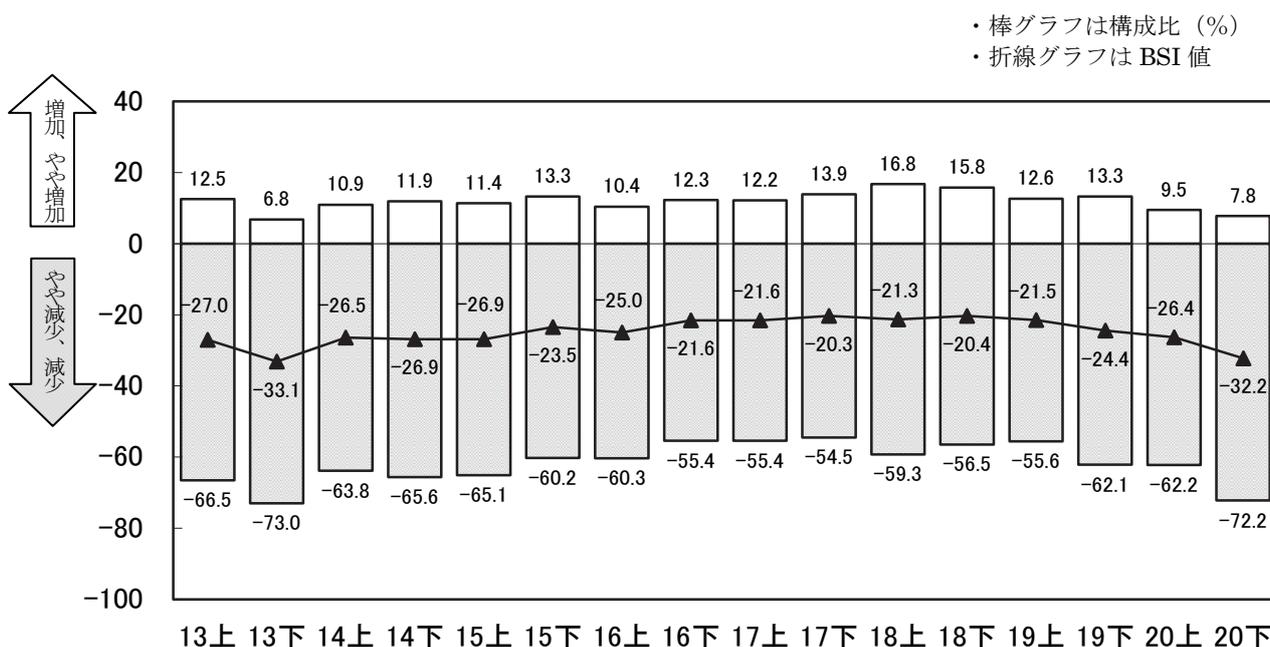
表－3 利益状況

産業	期	実 績		
		19年7～12月期	20年1～6月期	20年7～12月期
全 産 業		△ 48.8	△ 52.7	△ 64.4
製 造 業		△ 56.1	△ 60.3	△ 74.0
建 設 業		△ 45.1	△ 47.9	△ 56.3
卸 売 業		△ 38.8	△ 45.0	△ 76.5
小 売 業		△ 56.6	△ 62.8	△ 71.6
飲 食 業		△ 52.4	△ 75.0	△ 70.6
サ ー ビ ス 業		△ 49.2	△ 44.3	△ 51.8

DI=好転（高い）の割合－悪化（低下）の割合

△はマイナス表示

図－5 利益状況



5. 販売条件と仕入条件

販売条件は悪化、仕入条件は改善

(1) 販売条件（表－4、図－6参照）

全産業の販売条件判断DIは△53.6と、前期実績値△42.5に比べ11.1ポイントマイナス幅が拡大し二期連続の悪化となった。

産業別にみると飲食業が1.2ポイントの改善となったものの、サービス業が17.8ポイント、卸売業が16.1ポイントの二桁悪化となったのをはじめ軒並みの悪化となった。

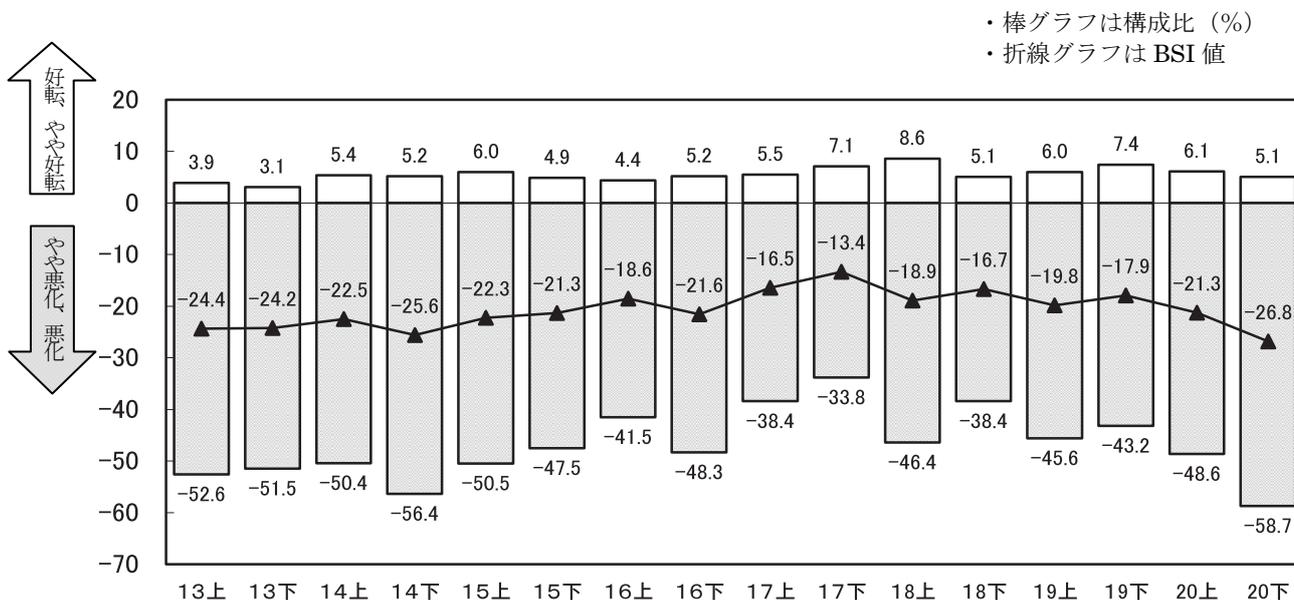
表－4 販売条件

産業	期	実績		
		19年7～12月期	20年1～6月期	20年7～12月期
全産業		△ 35.8	△ 42.5	△ 53.6
製造業		△ 31.6	△ 47.1	△ 53.6
建設業		△ 38.4	△ 43.9	△ 49.3
卸売業		△ 27.7	△ 25.0	△ 41.1
小売業		△ 41.7	△ 55.7	△ 64.1
飲食業		△ 52.4	△ 60.0	△ 58.8
サービス業		△ 31.8	△ 28.6	△ 46.4

DI=好転（高い）の割合－悪化（低下）の割合

△はマイナス表示

図－6 販売条件



(2) 仕入条件 (表-5、図-7参照)

全産業の仕入条件判断DIは、△40.3と前期実績値△49.2と比べ8.9ポイントマイナス幅が縮小し販売条件とは逆に改善した。

産業別に見ても飲食業の23.0ポイントを筆頭に全ての業種で改善した。

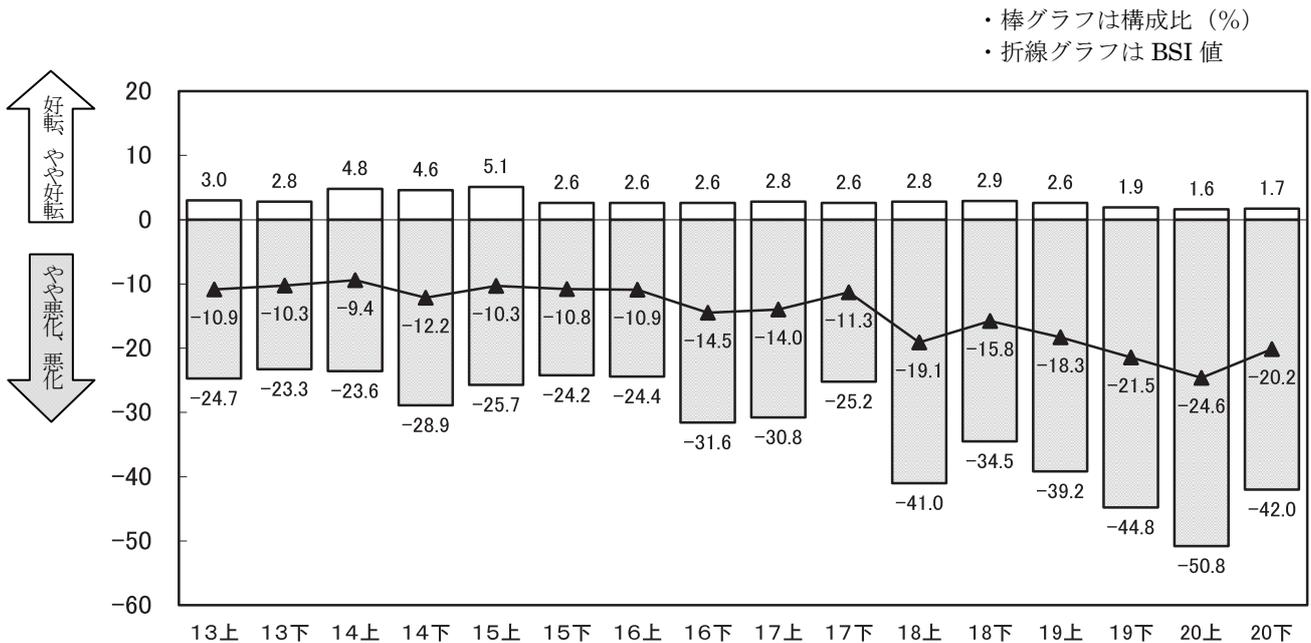
表-5 仕入条件

産業	期	実績		
		19年7~12月期	20年1~6月期	20年7~12月期
全産業		△ 42.9	△ 49.2	△ 40.3
製造業		△ 43.9	△ 58.5	△ 40.7
建設業		△ 49.3	△ 58.9	△ 40.8
卸売業		△ 38.9	△ 45.0	△ 35.3
小売業		△ 35.0	△ 47.2	△ 44.8
飲食業		△ 61.9	△ 70.0	△ 47.0
サービス業		△ 44.4	△ 31.4	△ 28.6

DI=好転 (高い) の割合-悪化 (低下) の割合

△はマイナス表示

図-7 仕入条件



6. 設備投資（表－6参照）

実績はやや増加、計画はやや低調

(1) 今期の動向

今期設備投資を実施した企業は、295企業中42企業14.2%で前期実績値10.8%に比べて3.4ポイント増加した。

産業別に見ると、建設業で16.9%、サービス業で16.1%とやや活発な動きがみられたが、卸売業では5.9%と低調な動きとなった。

(2) 来期の計画

全産業中、来期設備投資を予定している企業は295企業中18企業で全体の6.1%となり、今期実績値14.2%と比べ8.1ポイントの減少となり、やや低調となった。

産業別で見ると、サービス業で8.9%、建設業で8.5%とやや割合が高かったものの、卸売業・飲食業では0.0%と計画のある企業は無かった。

表－6 設備投資実施企業割合

(単位：%)

期 産 業	実 績			来期計画
	19年7～12月	20年1～6月	20年7～12月	21年1～6月
全 産 業	12.0	10.8	14.2	6.1
製 造 業	21.1	20.8	13.0	7.4
建 設 業	11.0	9.6	16.9	8.5
卸 売 業	5.6	5.0	5.9	0.0
小 売 業	0.0	4.3	13.4	3.0
飲 食 業	9.5	10.0	11.8	0.0
サービス業	19.0	12.9	16.1	8.9

7. 資金繰りの動向（表－7、図－8参照）

現状は悪化、見通しはさらに悪化

(1) 今期の動向

全産業の今期資金繰り判断D Iは△41.7と、前期実績値△32.4から9.3ポイント悪化した。

産業別に見ると、卸売業で26.2ポイントと大きく悪化したのを筆頭に飲食業を除く全ての業種で悪化となった。

(2) 来期の見通し

全産業の来期資金繰り判断D Iは△44.8と今期実績値△41.7に比べ3.1ポイントのマイナス幅拡大となり、更に悪化する見通しとなっている。

産業別に見てみると、製造業・卸売業を除いて今期実績値よりマイナス幅が拡大し、特に建設業・飲食業では大きく悪化見通しとなった。

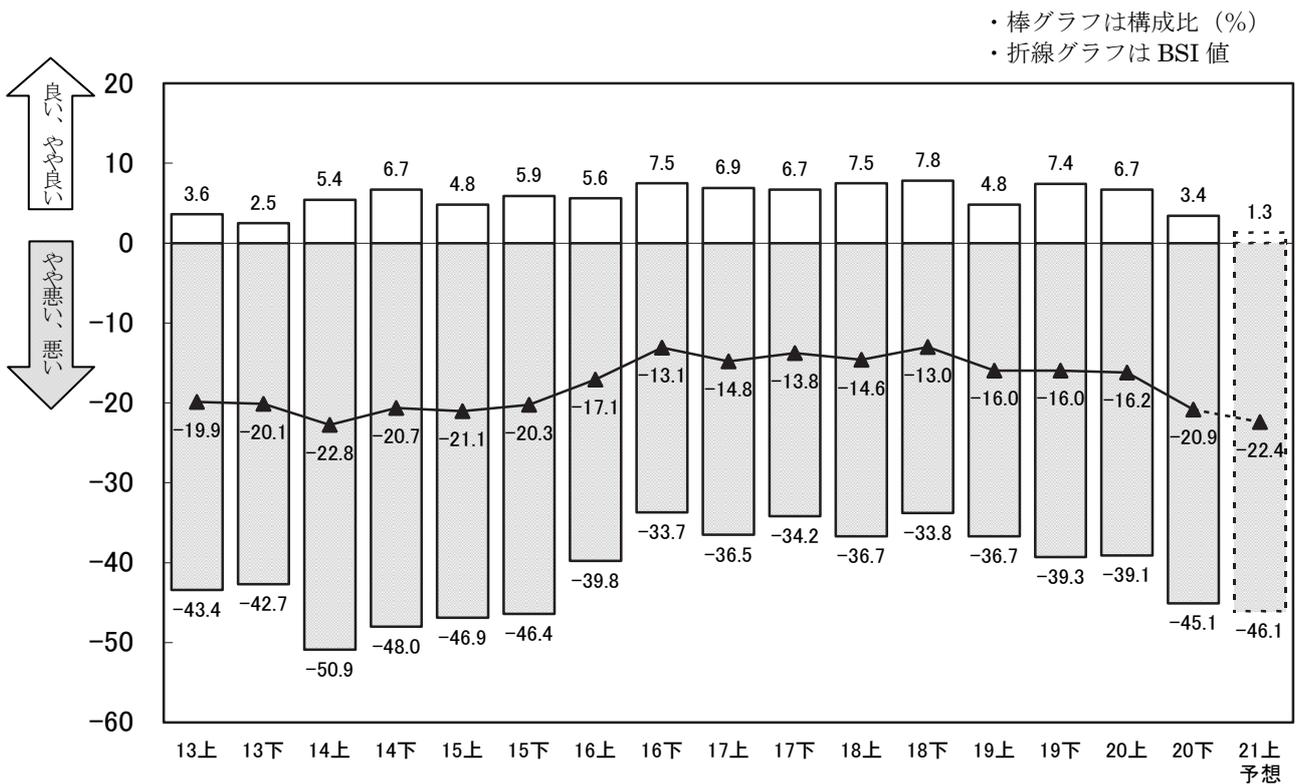
表-7 資金繰り

期 産 業	実 績			来期見通し
	19年7~12月期	20年1~6月期	20年7~12月期	21年1~6月期
全 産 業	△ 31.9	△ 32.4	△ 41.7	△ 44.8
製 造 業	△ 29.9	△ 33.9	△ 40.6	△ 35.1
建 設 業	△ 28.7	△ 30.2	△ 38.0	△ 50.7
卸 売 業	0.0	△ 15.0	△ 41.2	△ 29.4
小 売 業	△ 31.6	△ 38.6	△ 47.7	△ 49.3
飲 食 業	△ 66.6	△ 45.0	△ 41.2	△ 52.9
サービス業	△ 38.1	△ 31.4	△ 37.4	△ 42.8

DI=好転（高い）の割合－悪化（低下）の割合

△はマイナス表示

図-8 資金繰りの現状と見通し



8. 借入の動向（表－8参照）

借入は容易傾向

全産業の借入難易度判断DIは△5.4となり、前期実績値△13.6と比べて8.2ポイント、マイナス幅が縮小し、借入が容易になった傾向がうかがえる。

産業別に見ると、飲食業で26.7ポイント、サービス業で5.3ポイント悪化したが、卸売業で25.8ポイント、建設業で16.2ポイント、製造業で15.4ポイント、小売業で8.0ポイント好転した。

表－8 借入の難易度

産業	期	実績		
		19年7～12月期	20年1～6月期	20年7～12月期
全産業		△ 12.3	△ 13.6	△ 5.4
製造業		△ 10.4	△ 15.4	0.0
建設業		△ 14.7	△ 16.2	0.0
卸売業		△ 28.6	△ 9.1	16.7
小売業		0.0	△ 19.1	△ 11.1
飲食業		0.0	△ 40.0	△ 66.7
サービス業		△ 23.5	0.0	△ 5.3

DI=好転（高い）の割合－悪化（低下）の割合

△はマイナス表示

9. 借入予定と借入希望先（図－9参照）

借入希望は増加、資金使途の多くは運転資金

全産業中、来期に借入を予定している企業は295企業中56企業で全体の19.0%となり、前期実績値15.9%と比べ3.1ポイントの増加となった。

産業別に見ると、製造業で「借入予定あり」とする割合が最も高く、飲食業での借入予定が最も少なかった。

借入希望先は全産業で公的金融機関46.4%、民間金融機関48.2%と民間金融機関を希望する割合がやや多かった。

また資金使途は全産業では、運転資金76.8%、設備資金21.4%で、運転資金としての資金を希望している業種が多かった。

図-9-① 借入予定

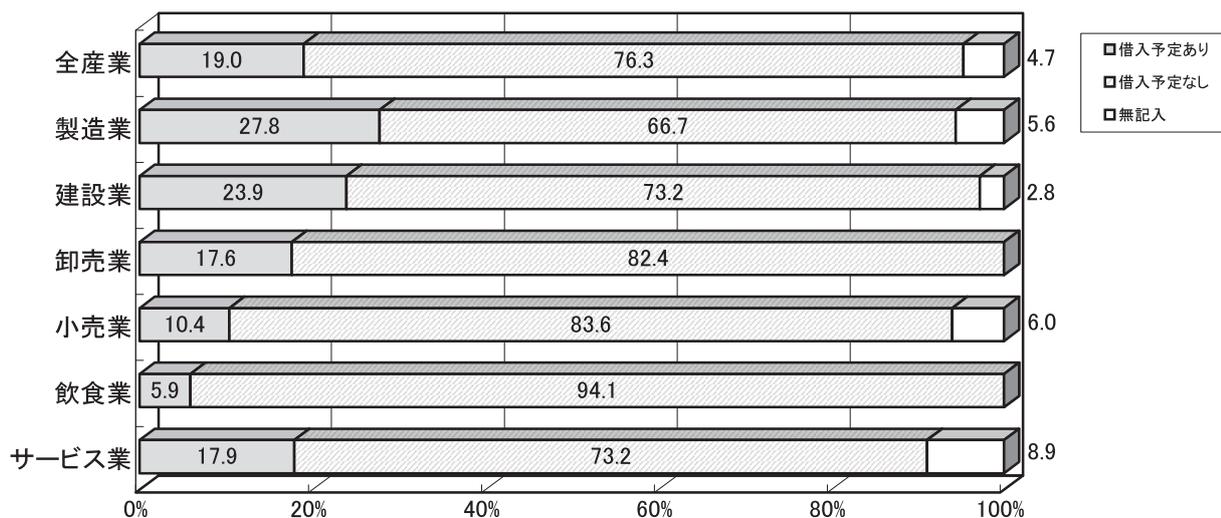


図-9-② 借入希望先

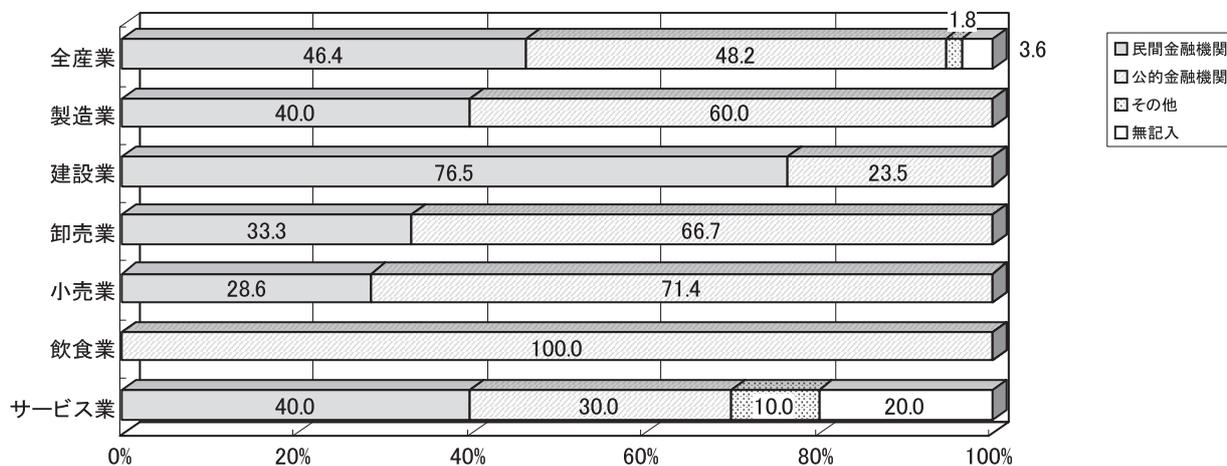
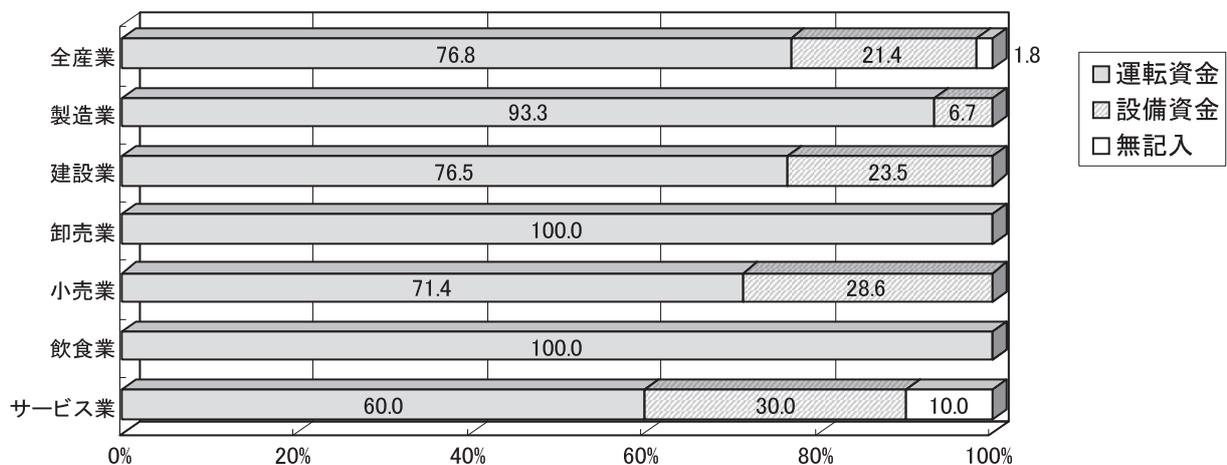


図-9-③ 借入資金の使途予定



10. 経営上の問題点（3項目まで選択）（表－9、図－10 参照）

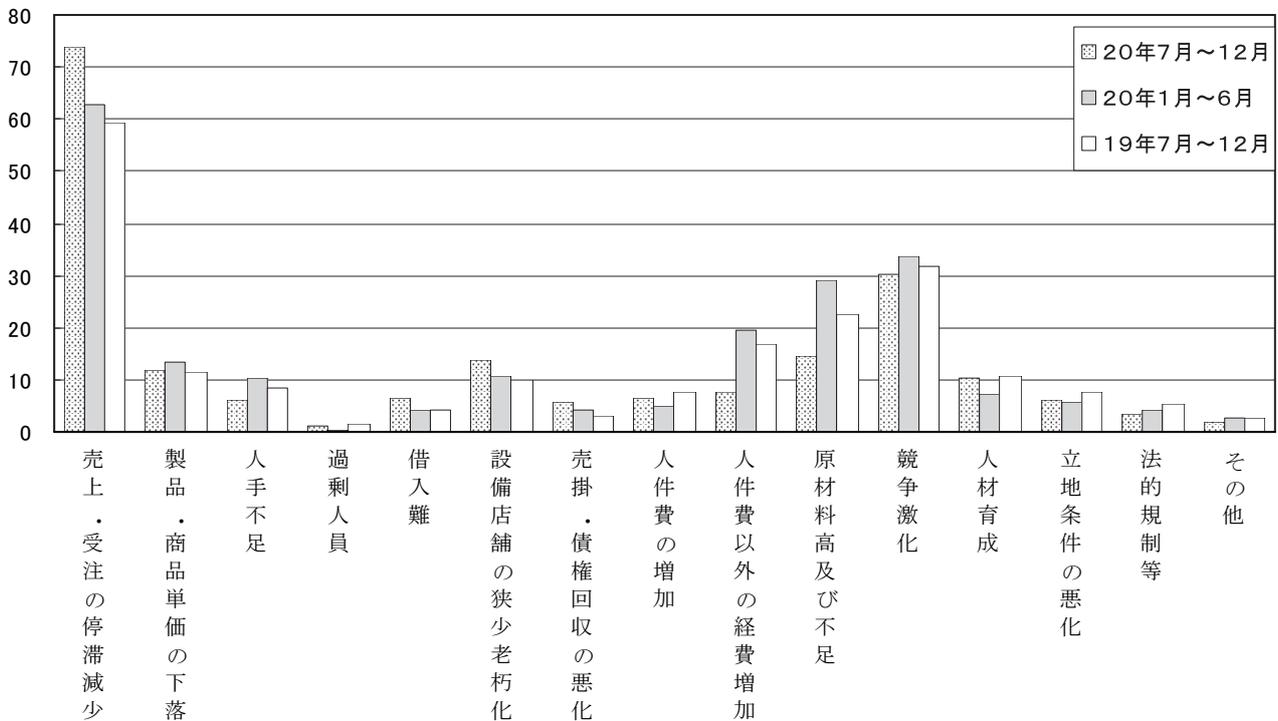
「売上・受注の停滞減少」が全ての業種で一位に

全産業の経営上の問題点は1、2位は12期連続で「売上・受注の停滞・減少」、「競争激化」となり、3位も4期連続で「原材料高及び不足」となった。

産業別で見ると、「売上・受注の停滞・減少」が全ての業種で1位となり、「競争激化」も飲食業では3位以内に入らなかったものの、建設業、卸売業、小売業、サービス業で2位、製造業で3位となった。「原材料高及び不足」は製造業で2位を占めたほか、卸売業、飲食業、サービス業で3位となった。また小売業、飲食業、サービス業では「設備店舗の狭小老朽化」、建設業で「人材育成」の割合が多かった。

図－10 全産業・経営上の問題点

(単位：%)



表－9 産業別・経営上の問題点

(単位：%)

順位 産業		20年1月～6月期			20年7月～12月期		
		1位	2位	3位	1位	2位	3位
産業別	全産業	売上・受注の 停滞減少 (62.9)	競争激化 (33.7)	原材料高 及び不足 (28.9)	売上・受注の 停滞減少 (73.9)	競争激化 (30.2)	原材料高 及び不足 (14.6)
	製造業	売上・受注の 停滞減少 (67.9)	原材料高 及び不足 (52.8)	製品・商品 単価の下落 (20.8)	売上・受注の 停滞減少 (77.8)	原材料高 及び不足 (29.6)	製品・商品 単価の下落 競争激化 (22.2)
	建設業	売上・受注の 停滞減少 (63.0)	原材料高 及び不足 (38.4)	競争激化 (35.6)	売上・受注の 停滞減少 (67.6)	競争激化 (33.8)	人材育成 (15.5)
	卸売業	売上・受注の 停滞減少 (75.0)	原材料高 及び不足 (40.0)	競争激化 人件費以外の 経費増加 (25.0)	売上・受注の 停滞減少 (88.2)	競争激化 (41.2)	原材料高 及び不足 (23.5)
	小売業	売上・受注の 停滞減少 (72.9)	競争激化 (42.9)	人件費以外の 経費増加 (24.3)	売上・受注の 停滞減少 (91.0)	競争激化 (31.3)	設備店舗の 狭小老朽化 (17.9)
	飲食業	売上・受注の 停滞減少 (65.0)	原材料高 及び不足 (40.0)	人手不足 競争激化 (25.0)	売上・受注の 停滞減少 (70.6)	設備店舗の 狭小老朽化 (35.3)	人件費の増加 原材料高 及び不足 (17.6)
	サービス業	売上・受注の 停滞減少 (47.1)	競争激化 (38.6)	設備店舗の 狭小老朽化 (25.7)	売上・受注の 停滞減少 (57.1)	競争激化 (32.1)	設備店舗の 狭小老朽化 原材料高 及び不足 (14.3)

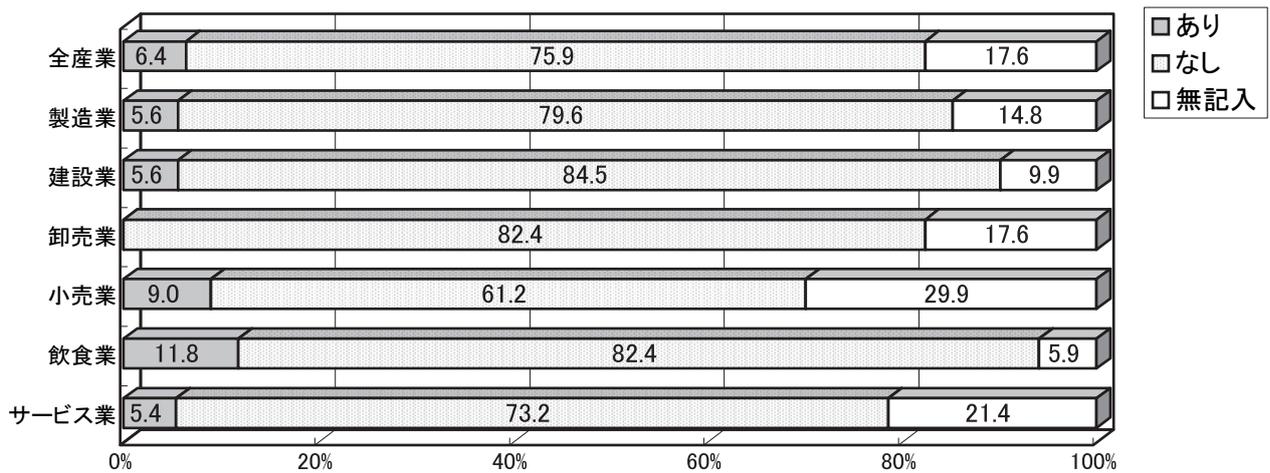
11. 貸渋り・貸剥しの状況（図-11 参照）

「うけている」企業が6.4パーセント

今回、付帯調査として「貸渋り・貸剥しをうけていますか」と問うたところ、295企業中19企業(6.4%)が「うけている」と回答した。

産業別で見ると、飲食業が11.8%と最も多く、次いで小売業が多かった。

図-11 貸渋り・貸剥しの状況



津地区企業の景況調査票

津商工会議所・中小企業相談所

平成21年1月

会議所	No.	コード
02		

平素は種々ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。さて、当所では地区内企業の皆さんの実態を的確に把握し、問題点を抽出し適切な対策を計ることが重要な使命でもありますので下記項目について景況調査を実施いたします。

つきましては、ご多忙のところ大変恐縮に存じますが**1月16日まで**にご回答賜りますようお願い申し上げます。

なお、調査結果が必要な方は、津商工会議所中小企業相談所(TEL228-9141)又は久居支所(TEL255-2343)までご連絡下さい。

※各段間に対して該当するものに○をして下さい。

I. 企業の概要

1. 業種(主たるもの1つ)

〈製造業〉	1.食料品	2.繊維品	3.機械製品	4.金属製品	5.木材木製品
	6.化学製品	7.土石業	8.印刷・出版	9.その他	
〈建設業〉	10.土木工事	11.建築工事	12.その他		
〈卸売業〉	13.食料品	14.繊維・身の回り品	15.その他		
〈小売業〉	16.繊維・身の回り品	17.食料品	18.家具・日用品	19.電気製品	20.その他
〈飲食業〉	21.飲食店				
〈サービス業〉	22.美容・理容	23.ホテル・旅館	24.自動車整備	25.不動産	26.その他
〈交通運輸業〉	27.交通運輸	〈その他〉	28.その他		

2. 常時使用従業員数(会社の役員・家族従業員・パートを除く)

1. 0～5人	2. 6～20人	3. 21～50人	4. 51～100人	5. 101人以上
---------	----------	-----------	------------	-----------

II. 企業の経営状況について

3. 現状について

1. 良	2. やや良	3. まずま	4. やや悪	5. 悪
------	--------	--------	--------	------

4. 今後の見通しについてどう思いますか。

1. 良	2. やや良	3. まずま	4. やや悪	5. 悪	6. わから
------	--------	--------	--------	------	--------

5. 売上状況について…平成20年7～12月の売上は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 増	2. やや増	3. 変わ	4. やや減	5. 減
------	--------	-------	--------	------

6. 売上の見通しについて…平成21年1～6月の売上は前年同期に比べてどうなると思っていますか。

1. 増	2. やや増	3. 変わ	4. やや減	5. 減	6. わから
------	--------	-------	--------	------	--------

7. 利益状況について…平成20年7～12月の利益は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 増	2. やや増	3. 変わ	4. やや減	5. 減
------	--------	-------	--------	------

8. 販売状況(単価・決済方法)について…平成20年7～12月は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 好	2. やや好	3. 変わ	4. やや悪	5. 悪
------	--------	-------	--------	------

9. 仕入条件(単価・決済方法)について…平成20年7～12月は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 好	2. やや好	3. 変わ	4. やや悪	5. 悪
------	--------	-------	--------	------

10. 設備投資について

20年7～12月の実績	21年1～6月の予定
1. 行	1. 予
2. 行	2. 予

11. 資金繰りの現状について…平成20年7～12月は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 好	2. やや好	3. 変わ	4. やや悪	5. 悪
------	--------	-------	--------	------

12. 資金繰りの見通しについて…平成21年1～6月は前年同期に比べてどうなると思っていますか。

1. 好	2. やや好	3. 変わ	4. やや悪	5. 悪
------	--------	-------	--------	------

13. 借入の現状について…平成20年7～12月はどうでしたか。(借入された方のみ)

1. 容	2. 普	3. 困
------	------	------

14. 借入予定はありますか…(平成21年1～6月)

1. 予	2. 予
------	------

14-1. 借入先は、どこを希望されますか。(主たるもの一つ)

1. 民間金融機関	2. 公的金融機関	3. その他
-----------	-----------	--------

14-2. 資金使途は何を予定されていますか。(主たるもの一つ)

1. 運転資金	2. 設備資金
---------	---------

15. 現在経営上で、困っている問題点は何か。あれば3つ以内で選んでください。

1. 売上・受注の停滞減少	6. 設備・店舗の狭小老朽化	11. 競争激化
2. 製品・商品単価の下落	7. 売掛・債権回収の悪化	12. 人材育成
3. 人手不足	8. 人件費の増加	13. 立地条件の悪化
4. 過剰人員	9. 人件費以外の経費の増加	14. 法的規制等(緩和を含む)
5. 借入難	10. 原材料高及び不足	15. 税務・経理問題

16. 金融機関による貸渡り・貸倒し等をうけてみえますか。

1. う	2. う
------	------

17. その他困っている問題・ご意見等があればご記入下さい。

()
ご協力ありがとうございました。

津地区の小規模企業景況 No.53

平成21年3月発行

■ 編集 津商工会議所・中小企業相談所

■ 発行 津商工会議所

(本所)

〒514-0033 津市丸之内2-9-14

TEL 228-9141 FAX 228-7317

(久居支所)

〒514-1135 津市久居本町1-347-1

TEL 255-2343 FAX 256-3665